

災害時のためのチェックシート

日ごろから実際に震災に直面した時のために備えを心がけておくことが、災害の軽減につながります。いざという時にあわてず適切な行動ができるよう下記シートをお役立てください。

■非常用持出品チェックシート

避難するときにまず持ち出すべきものです。非常用持出袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

貴重品類	
10円玉は公衆電話用に。通帳、カード、健康保険証、運転免許証などは番号を控えたメモかコピーを用意しておくといでしょう。	現金 10円玉
	預金通帳
	印鑑
	保険証
	免許証
	マイナンバーカード
避難用具	
懐中電灯はできれば一人に一つ用意したいもの。	懐中電灯
	携帯ラジオ
	予備の乾電池
	ヘルメット・防災ずきん
生活用品	
避難所生活に最低限必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障害者がいる場合など考慮して揃えましょう。	マスク
	厚手の手袋・ゴム手袋
	毛布
	缶切り
	ライター・マッチ
	ナイフ
	携帯用トイレ
救急用具	
救急箱には絆創膏・消毒液など。その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるといでしょう。	救急箱
	処方箋の控え
	胃腸薬・便秘薬・持病の薬
	生理用品
非常食品	
最低3日分は用意しましょう。そのまま食べられるものが便利です。	乾パン
	缶詰
	栄養補助食品
	アメ・チョコレート
	飲料水
衣料品	
衣類は動きやすいものを選びましょう。セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます。	下着・靴下
	長袖・長ズボン
	防寒用ジャケット・雨具
その他	
	携帯用カイロ

■備蓄品チェックシート

備蓄品は、災害復旧までの数日間を自足できるように準備しておくものです。災害後に取りに行けるよう、倉庫や車のトランクなどに分けて備蓄しておくとい便利です。

食料品	
レトルト食品(ごはん・おかゆなど)・アルファ米	
インスタントラーメン・カップみそ汁	
飲料水	1日3ℓが目安です。3日分は備えましょう。
生活用品	
給水用ポリタンク	ポリタンクには日頃から水道水をためておくとい災害時、生活用水に役立ちます。
カセットコンロ	
マスク	
ティッシュペーパー・ウェットティッシュ	ウェットティッシュは入浴できない災害時には体が拭けるなど重宝します。
ラップフィルム	食器の上に敷けば洗う必要もありません。
紙皿・紙コップ・割り箸	
簡易トイレ	
水のいらぬシャンプー	
ビニール袋	雨具や敷物、簡易トイレとしても使用可能。プライバシー保護のため透けないものを。
ロープ	救助活動の際に使えます。
工具セット	
ほうきとちりとり	ガラスや倒壊物の除去に役立ちます。
ランタン	
長靴	瓦礫などから足を保護するために。

■常時携行品チェックシート

外出先で被災する場合もあるので、必要なものは常に身に付けておきたいものです。コンパクトで軽いものが理想的です。

懐中電灯	
携帯ラジオ	
笛・ホイッスル	閉じ込められたときなど、場所を知らせます。
避難カード	
避難用マップ	
マスク	

地域防災力向上 シンポジウム in 徳島 2021

事業所との連携による地域防災力の向上

日時 2021年1月18日(月) 開場13:00
開会13:30
閉会16:00(予定)

メイン会場

徳島グランヴィリオホテル
徳島市万代町3-5-1

サテライト会場

県立西部防災館 2F
美馬市美馬町字中鳥

サテライト会場

県立南部防災館 2F
海部郡海陽町浅川字西福良43

※サテライト会場は三密を避けるための中継会場になります。
メイン会場の映像をスクリーンに投影します。

アーカイブ動画
当日の様子は後日、
下記URLより視聴できます。
<https://www.chiikibousai-fdma.go.jp>



新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い

- マスクの着用、咳エチケットへのご協力をお願いいたします。
- 開会中、周りのお客様との会話はご遠慮いただくようお願いいたします。また、マスクの着用がないお客様につきましては、ご退場いただく場合がございます。
- お手洗いをご利用の際など、待機列にお並びの場合、他のお客様との間隔を空けてソーシャルディスタンスの確保をお願いいたします。
- 会場入口にアルコール消毒液を設置しておりますので入場時は必ず、手の消毒にご協力いただけますようお願いいたします。
- 開会中、体調が優れなくなった場合はすぐにスタッフにお伝え下さい。
- 再入場をご希望の方は、会場入口にて入館パスをスタッフへご提示をお願いいたします。
- 公演後の退場について、密集防止の為会場スタッフによる退場規制を行います。入口近くのお客様から順番にご案内いたしますので、係員の案内があるまで、お席でお待ちいただけますようお願いいたします。
- シンポジウム参加後14日以内に、新型コロナウイルス感染症への感染が確認された場合は、下記へご連絡ください。

【地域防災力向上シンポジウム】係(徳島新聞社 企画推進部)
TEL088-655-7407 (9:30~17:30土日祝日を除く)



板野郡北島町:消防団の視野を広げ、アクティブシニアの「機能別消防団員」への参加を促すとともに、地域防災の担い手となる人材の育成を図るための避難所開設・運営訓練(2020年11月)



板野郡北島町:将来の消防団員の確保につなげるため、高校生や大学生に、消防団の活動体験を通じて地域防災に対する関心や理解を深めてもらうことを目的とした消防団1日体験(2020年9月)

主催:消防庁、徳島県、徳島市、公益財団法人徳島県消防協会 共催:徳島新聞社
後援:公益財団法人日本消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会、全国消防長会、徳島県市長会、徳島県町村会、徳島大学環境防災研究センター、全国地方新聞社連合会

開催趣旨

切迫する南海トラフ巨大地震や頻発化・激甚化する豪雨災害など、大規模災害はいつ発生してもおかしくありません。

こうした中、被害を最小限にとどめるためには、日頃から住民一人ひとりが災害に対して備えるとともに、地域における連携を深めることが重要です。

本シンポジウムは、消防団をはじめとする地域防災の担い手の確保と地域の多様な団体との連携により、防災活動のより一層の充実強化を図るため、企業・事業者の地域防災への理解と協力を促進し、地域防災力の向上につなげます。

当日プログラム

※プログラム内容は変更になる場合がございます。

13:30 開会・主催者挨拶

13:45 令和2年度徳島県消防団協力事業所 知事表彰 表彰式

14:00 基調講演

「事業所との連携による地域防災力の向上」

中野 晋氏 ★徳島大学教授 徳島大学環境防災研究センター センター長

14:45 休憩

15:00 パネルディスカッション

テーマ「広がる!つながる!共助のかたち」

【パネリスト】 浜 大吾郎氏 ★美波町西の地防災きずな会 事務局長

大山 浩治氏 ★株式会社井上組 常務執行役員

佐川 富美氏 ★海陽町消防団 団員

湯浅 恭史氏 ★徳島大学環境防災研究センター 助教

【コーディネーター】 中野 晋氏

15:55 閉会挨拶

16:00 閉会

Memo

出演者プロフィール

基調講演

・中野 晋氏 ★徳島大学教授 徳島大学環境防災研究センター センター長

1955年生まれ。京都大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了、運輸省港湾技術研究所海洋水理部、徳島大学工学部助手、同講師、同助教授等を経て、2015年4月より現職。もともと河口や海域の環境問題を専門とする土木工学分野の技術者だったが、南海トラフ地震について危機感を抱き2000年頃から方向転換し、防災研究者を目指す。地域防災の要は子供の時代にいかに防災を学ぶ機会を増やすかにかかっていると考え、学校防災を重要テーマとして取り組んでいる。



パネルディスカッション

【パネリスト】

・浜 大吾郎氏 ★美波町西の地防災きずな会 事務局長

ープロフィールー

・1995年旧由岐町役場(市町村合併後美波町役場)に入庁。1998年から10年間、町の防災担当を務めた。2004年から地域づくりの一環で地元の自主防災組織の事務局長に就き、防災まちづくり活動を通じて地域の持続可能性の向上を模索している。美波町消防団には2006年9月に入団。

ー「地域防災」に係る活動・取組ー

・美波町消防団では、平常時は防火活動や消火訓練、津波避難訓練等を実施している。また、西の地防災きずな会では、南海トラフ地震を見据えて非常食の備蓄や防災資機材の整備に加え、山間部の自主防災組織と避難所共同運営のための地域間交流等を行っている。

・大山 浩治氏 ★株式会社井上組 常務執行役員

ープロフィールー

・徳島県美馬郡つるぎ町出身。県立貞光工業高等学校卒業、昭和58年井上組入社。工事部を経て、令和元年より現職。営業・企画部統括で入札関係、建設業BCPの構築などに従事しSDGsにも取り組んでいる。

ー「地域防災」に係る活動・取組ー

・消防団協力事業所として12名が地元消防団に所属。消火活動をはじめ要救助者の検索・救助活動、危険個所の警戒活動、年末の夜警活動、年始の出初式活動等において、地域における消防防災のリーダーとして勤務中、勤務外を問わず災害発生時に素早く駆け付け、住民の安全安心を守るという重要な役割を担っている。

・佐川 富美氏 ★海陽町消防団 団員

ープロフィールー

・徳島県吉野川市出身。四国大学卒業。その後縁があって海陽町で34年在住。

平成28年にNPO法人「あったかいよう」の設立・活動に携わるほか、平成30年からは海陽町議会議員としても日々活動中。

ー「地域防災」に係る活動・取組ー

・海陽町消防団は地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っている。火災における消火活動はもとより、台風、豪雨、地震などの自然災害における救助活動や被害を防ぐ活動さらには事故災害における救助、救出活動などあらゆる災害に対処する活動を行っている。

・湯浅 恭史氏 ★徳島大学環境防災研究センター 助教

ープロフィールー

・徳島県出身。地域金融機関、中小企業支援機関を経て、2013年より現職。企業、自治体、医療機関等の組織の危機管理、事業継続を専門に研究。地域の企業や学校との連携による防災力向上への取り組みを積極的に支援している。

ー「地域防災」に係る活動・取組ー

・株式会社大塚製薬工場、鳴門市、川東地区自主防災会、里浦町自主防災会連合会、鳴門市立第二中学校と産官学民の連携により避難訓練等の地域防災活動を実践している。将来の地域を担う中学生と地域自主防災会メンバー、企業が一緒になって避難訓練の企画・運営やワークショップを行っており、地区防災計画にも継続的に取り組んでいる。

【コーディネーター】

・中野 晋氏 ★徳島大学教授 徳島大学環境防災研究センター センター長